

# GTIN運用基準書

この「GTIN運用基準書」は、2010年4月からのGTIN本格運用に関してGTINへの対応方法を、コード運用担当者用にまとめた資料です。  
別紙の「GTIN説明会資料」の補足資料として扱って下さい。

## - 目次 -

	頁
JAN	2
JANコード体系・規格・JANコードを変える場合等を説明	
ITF	3
ITFコード体系・規格・ITFコードを変える場合・ITF付番方法を説明	
卸売業での対応	5
卸売業の対応方針・運用実態等を中心に説明	
メーカーでの対応	7
メーカーの対応方針・運用実態等を中心に説明	
付番ルール	9
GTIN(JAN / ITF)の変更可否を実例を挙げて説明	
Q & A例	11
よくある質問(Q)を掲げ、それに対する回答(A)の例を説明	
e-お菓子ねっとEDIフォーマット対応	12
e-お菓子ねっとのGTIN対応を説明	

2010年7月

e-お菓子ねっと運営委員会

## JAN

### (1) JANコードとは

JANコードは、消費者が購入する単位で商品にバーコードと共に表示される。店頭POSレジおよび入在庫検品時のスキャナによる自動読み取りに利用され受発注・棚卸・在庫管理・販売管理システムなどに利用されている。さらに公共料金等の支払システムへの利用など利用分野の拡大がみられます

### (2) JANコード体系

JAN13桁コード	メーカーコード(7桁) + アイテム(5桁) + C/D(1桁) メーカーコード(9桁) + アイテム(3桁) + C/D(1桁)
JAN8桁コード	メーカーコード(6桁) + アイテム(1桁) + C/D(1桁) (ガム等の小型商品に使用しているが、日本のみの運用)

### (3) JANバーコード規格(13桁)

	規格外		規格内				
倍率	0.5	0.62	0.8	1.0	1.2	1.5	2.0
バーコードの長さ	18.65	23.8	29.83	37.29	44.75	55.94	74.58
バーコードの高さ	5.0	6.2	18.29	22.86	27.43	34.29	45.72
利用用途	ホールペン 筆記用具		一般品	一般品		ケース	ケース

### (4) JANコードを変える場合

- < 通常品 > パッケージに表示されている内容の変更
  - < 通常品 > 商品の成分・機能変更(消費者にアピールする場合)
  - < 通常品 > パッケージの外寸法が20%以上変更
  - < 販促品 > ボーナスパック(増量し、通常品と同じ価格で販売)
  - < 販促品 > コンビネーションパック(通常、別売品をまとめて販売)
  - < 季節品 > 通常品と異なる包装の場合(重量・数量・価格は同じ)
  - < 季節品 > ある時期の特性を持ち通常品と価格が異なる商品
- JANコードの設定は、以下の項目がいずれか一つでも異なっていれば商品アイテムコードを変えることが原則になっております

項目	例
商品名が異なる場合	シャンプー、××シャンプー
素材(原材料)が異なる場合	コーヒー(ブラジル産、ジャワ産)
サイズが異なる場合	大袋、中袋、小袋
容量が異なる場合	100g入り、500g入り
包装形態が異なる場合	袋物、箱物、缶詰、瓶詰
色が異なる場合	ピンク、ブルー、ホワイト
味が異なる場合	カレー味、バーベキュー味
香りが異なる場合	ジャスミン、ブーケ
販売単位が異なる場合	3個入り、5個入り
セット商品で、価格または中身(組み合わせ)が異なる場合	調味料2ヶと食用油3本入りセット 調味料3ヶと食用油2本入りセット

### (5) JANシンボル13桁, 8桁による商品への印刷表示は変わりません。

## ITF

### (1) ITFコードとは

集合包装用商品コードは、物流システムにおける世界共通の商品コードとして物流の効率化に利用されています。段ボールなどの集合包装に印刷表示するためのバーコードシンボルがITF (Interleaved Two of Five) シンボルです。段ボールなどに表示されたITFシンボルを読み取ることにより、入出荷検品、仕分け、棚卸しなどを自動的に、迅速、正確、効率的に行うことができます。

**ITFシンボル16桁は2010年4月以降、原則として新付番できなくなります。**

### (2) ITFコード体系

メーカーコード7桁    パッケージ・インジケータ(1桁) + メーカーコード(7桁) + アイテム(5桁) + C/D(1桁)  
 メーカーコード9桁    パッケージ・インジケータ(1桁) + メーカーコード(9桁) + アイテム(3桁) + C/D(1桁)  
 短縮JANの時        パッケージ・インジケータ(1桁) + 00000 + メーカーコード(6桁) + アイテム(1桁) + C/D(1桁)

### (3) ITFバーコード規格

倍率	固定スキャナ利用					ハンディスキャナ利用				
	1.2	1.0	0.8	0.7	0.625	0.6	0.5	0.4	0.35	0.25
バーコードの長さ	182.7	153.8	124.9	110.6	99.7	91.5	77.1	61.7	53.5	39.1
バーコードの高さ	48.3	41.4	41.4	36.1	33.8	25	25.0	20.0	15.0	15.0
利用用途		ケース (固定大)	ケース (固定中)	ケース (固定小)	ケース (両用)	ケース (良質大)	ケース (良質中)	ケース (良質小)		ホール 内箱

### (4) ITFコードを変える場合

JANが変更となった場合  
 同一商品が集合包装されその入数が異なる場合  
 集合包装の中身の構成が変更される場合  
 販促品で、同一品・別商品を同梱する場合  
 販促品で、期間限定のイベント用販売促進  
 ブランド・オーナーの判断による変更

### (5) ITFの付番方法(JANアイテム一致型)

100円ホリトチョコ    外箱入数: 8、内箱入数: 6

単品JAN	4912345+01234+0	2003.10発売
ホールITF	8+4912345+01234+6	"
ケースITF	1+4912345+01234+7	"
ケースITF	2+4912345+01234+7	2004.04企画変更
ケースITF	3+4912345+01234+1	2004.10企画変更
...	...	...
ケースITF	7+4912345+01234+9	2006.10企画変更

60円オヤツスナック    (A) 外箱入数: 8、内箱入数: 6  
 (B) 外箱入数: 12、内箱入数: 4

単品JAN	4912345+02356+8	2004.10発売	
ホールITF	8+4912345+02356+4	"	(A)
ホールITF	7+4912345+02356+7	"	(B)
ケースITF	1+4912345+02356+5	"	(A)
ケースITF	2+4912345+02356+2	"	(B)
ケースITF	3+4912345+02356+9	2005.04企画変更	(A)
ケースITF	4+4912345+02356+6	"	(B)
ケースITF	5+4912345+02356+3	2005.10企画変更	(A)
ケースITF	6+4912345+02356+0	"	(B)

軽微な企画変更では、ITFコードを変更しない方が得策です。

- ( 4年以内での再利用は原則禁止されています )
- ホールITFは外箱(集合包装)の企画変更等では変えないのが原則です。
- ( パッケージ・インジケータは、"8"を推奨しますが、その他を使う場合は取引先に都度連絡を行って下さい )

(6) ITFの付番方法(JANアイテム不一致型) パッケージインジケータは常に"0"である

100円ホリトチョコ 外箱入数: 8、内箱入数: 6

単品JAN	4912345+01234+0	2003.10発売
ホ-ルITF	0+4912345+01114+6	"
ケ-スITF	0+4912345+01214+7	"
ケ-スITF	0+4912345+11234+7	2004.04企画変更
ケ-スITF	0+4912345+21234+1	2004.10企画変更
⋮	⋮	⋮
ケ-スITF	0+4912345+00234+9	2006.10企画変更

60円オヤツスナック (A) 外箱入数: 8、内箱入数: 6  
(B) 外箱入数: 12、内箱入数: 4

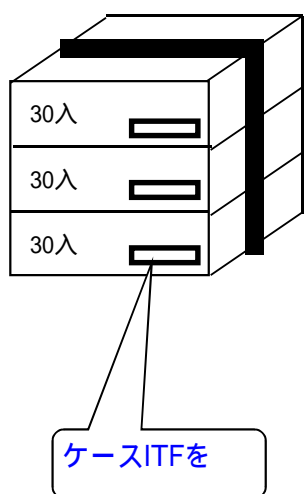
単品JAN	4912345+02356+8	2004.10発売	
ホ-ルITF	0+4912345+02357+5	"	(A)
ホ-ルITF	0+4912345+03356+7	"	(B)
ケ-スITF	0+4912345+12356+5	"	(A)
ケ-スITF	0+4912345+22356+2	"	(B)
ケ-スITF	0+4912345+32356+9	2005.04企画変更	(A)
ケ-スITF	0+4912345+42356+6	"	(B)
ケ-スITF	0+4912345+55356+0	2005.10企画変更	(A)
ケ-スITF	0+4912345+89056+6	"	(B)

軽微な企画変更では、ITFコードを変更しない方が得策です。  
ホ-ルITFは外箱が企画変更等では変えないのが原則です。

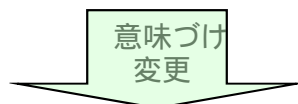
(7) PI(パッケージインジケータ)の定義

PI	内 容	備 考
0	JANまたは不一致型用	単品JANアイテム不一致型ITFの場合
1~8	入り数違いの識別に使用する (特梱の場合も1~8で使用する)	単品JANアイテム一致型ITFの場合 (包装単位等で順次付番する)
9	アドオンバージョン(未使用)	重量などの計量用

(7) バンド掛け・半製品・荷合せ商品のITFシンボル意味づけ変更または確認



現在、14912345111119 「90」入を表す



「14912345111119」 「30」入と解釈する

**ITFシンボルはケースのITFを表記する  
荷合せ用ITFシンボルは原則として表記しない**

## 卸売業での対応

### (1) GTIN運用の対応方針

#### 菓子業界での対応

- ・ 2007年3月からのGTIN対応、2010年1月から新品全面適用
- ・ JANアイテム一致型を推奨。不一致型利用する場合はメーカー責任において周知徹底を行う。
- ・ ボールJAN表記からボールITF表記への変更(インデキータは"8"推奨)「8以外は都度連絡を行う」  
(菓子業界としては、JANアイテム一致型及びボール商品のPI=8を推奨としていますが、  
輸入商品、食品主体としたメーカーの動向から、卸としては、不一致型への対応、  
PI=8を前提としないシステム対応が必要です。)  
(流通業側での対応の懸念がある為、側面にボール用ITF、天面(または底面)に単品用JANの  
表記を期間限定で認める)
- ・ 消費者に、ケース販売/ボール販売する場合は、同一包装形態でのGTINを一致させる為に  
単品JANアイテム不一致型の採用となります。
- ・ GTIN(ITF)の4年以内での再利用は原則として避ける  
(短期サイクル品の場合、4年以内での再利用も避けられない場合があるので、前商品と新商品が  
同時流通しない条件で、やむをえないとおもわれる)

#### 食品業界での対応(標準対応)

- ・ 2007年3月からのGTIN対応、大手34社は2008年4月迄移行完了
- ・ JANアイテム不一致型は採用する
- ・ GTIN(ITF)の4年以内での再利用はしない

### (2) GTIN運用の実態

#### ITFコード(16/14桁)をそのまま利用している場合

- ・ ITF16桁とITF14桁の読み取りの共存化対応
- ・ JANアイテム不一致型への対応(JANまたはPVコードへの紐付け)

#### ITFコード(16/14桁)からJANを読み取っている場合

- ・ ITF16桁とITF14桁の読み取りの共存化対応
- ・ JANアイテム不一致型への対応(JANへの紐付け)

#### JANコード(13/8桁)を利用している場合

- ・ ボールがJANからITFに変更となるので、ITF読み取りに変更して JANコード変換

#### ITF/JANコードを利用していない場合

- ・ 当面は未対応

### (3) 卸商品マスターに追加が必要な項目(理想型/JANアイテム一致型)

項目名	桁数	項目説明	コード例	入数	価格	JAN/ITF規格	
メーカー:プライベートコード	max16桁	メーカーコード+社内コード	4912345+02356	1	100		
卸プライベートコード(単品用)	max16桁	卸:社内コード	023561	1	100		
卸プライベートコード(内箱用)	max16桁	卸:社内コード	023562	6	600		
卸プライベートコード(外箱用)	max16桁	卸:社内コード	023563	8	48	4800	
単品JANコード	13/8桁	最小消費者購入単位	4912345023568	1	1	100	JAN:0.8/1.0倍
内箱ITFコード	14桁	標準内箱用ITFコード	84912345023564	1	6	600	ITF:0.35倍
外箱ITFコード	14桁(16桁)	標準外箱用ITFコード	14912345023565	8	48	4800	ITF:0.8/1.0倍

### (4) 卸商品マスターに追加が必要な項目(理想型/JANアイテム不一致型)

項目名	桁数	項目説明	コード例	入数	価格	JAN/ITF規格	
メーカー:プライベートコード	max15桁	メーカーコード+社内コード	4912345+02356	1	100		
卸プライベートコード(単品用)	max15桁	卸:社内コード	023561	1	100		
卸プライベートコード(内箱用)	max15桁	卸:社内コード	023562	6	600		
卸プライベートコード(外箱用)	max15桁	卸:社内コード	023563	8	48	4800	
単品JANコード	13/8桁	最小消費者購入単位	4912345023568	1	1	100	JAN:0.8/1.0倍
内箱ITFコード	14桁	標準内箱用ITFコード	04912345123565	1	6	600	ITF:0.35倍
内箱JANコード	13/8桁	内箱販売用JANコード	4912345123565	1	6	540	JAN:0.8/1.0倍
外箱ITFコード	14桁(16桁)	標準外箱用ITFコード	04912345223562	8	48	4800	ITF:0.8/1.0倍
外箱JANコード	13/8桁	外箱販売用JANコード	4912345223562	8	48	4800	JAN:1.0倍

GTIN(JAN/ITF)から社内管理商品コードに如何に紐付けを行うかが鍵となる。

メーカー 卸売業間、卸売業 小売業間の出荷検品・入庫検品時に利用する場合の運用ルールを決めないと混乱を招く恐れがある。

(5) 入出荷検品システムの確認事例

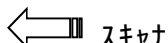
当面は、ITF16桁 / ITF14桁 / JAN13桁 / JAN8桁全てが読み込み可能となるようにスキャナを設定する。



集合包装用商品コードをスキャナで全桁認識出来て、商品マスターにJANコードを持ち、発注時の単品JANコードとの紐付けが可能となっている場合は、2007年3月に不一致型が登場しても、システム変更対応の必要はない。

(商品マスターファイルの例)

商品コード1(単品JANコード)	商品コード2(集合包装商品コード)	商品コード2(自社コード)	商品名	入数
------------------	-------------------	---------------	-----	----



先頭のPI(パッケージインジケータ)を読み飛ばして、JANコード部分を認識している場合

不一致型が登場する2007年3月返にシステム対応が必要

対応方法1 : 前記 方法にて、システム変更をする (スキャナ全桁読み取り変更を含む)

対応方法2 : 先頭のPI(パッケージインジケータ)を読み飛ばして、JANコード部分を認識を継続する場合は JANアイテム不一致型の商品コードと単品JANを紐付けするテーブルを別途作成する

(商品マスターファイルの例)

商品コード1(単品JANコード)	商品コード2(自社コード)	商品名	入数	
------------------	---------------	-----	----	--



(紐付けテーブルの例)

商品コード1(単品JANコード)	商品コード2(不一致型商品コード)
------------------	-------------------





## メーカーでの対応

### (1) GTIN運用の対応方針

#### 菓子業界での対応

- ・ 2007年3月からのGTIN対応、2010年1月からの新品は14桁化全面適用
- ・ JANアイテム一致型を推奨。不一致型を使用する場合はメーカー責任において周知徹底を行う。
- ・ **ボールJAN表記からボールITF表記への変更**(PI:インデキータは"8"推奨)「8以外は都度連絡を行う」  
ケースITF(1~7)を変えても、ボールITFを"8"で運用すれば、付番にも余裕があり実害もないはずですが、  
メーカーにより、PIがマチマチであると混乱するのであえて8(推奨)としました。「ITFは0.25倍規格」  
**(流通業側での対応の懸念がある為、側面にボール用ITF、天面(または底面)に単品用JANの表記を期間限定で認める)**
- ・ 消費者に、ケース販売/ボール販売する場合は、同一包装形態でのGTINを一致させる為に  
単品JANアイテム不一致型の採用となります。
- ・ GTIN(ITF)の4年以内での再利用は原則として避ける  
(短期サイクル品の場合、4年以内での再利用も避けられない場合があるので、前商品と新商品が  
同時流通しない条件で、やむをえないとおもわれる)

#### 食品業界での対応(標準対応)

- ・ 2007年3月からのGTIN対応、大手34社2008年4月迄移行完了
- ・ JANアイテム一致型と不一致型を採用する
- ・ GTIN(ITF)の4年以内での再利用はしない

### (2) GTIN運用の実態

#### ITFコード(16/14桁)をそのまま利用している場合

- ・ ITF16桁とITF14桁の読み取りの共存化対応

#### ITFコード(16/14桁)からJANを読み取っている場合

- ・ ITF16桁とITF14桁の読み取りの共存化対応

#### JANコード(13/8桁)を利用している場合

- ・ ボールがJANからITFに変更となるので、ITF読み取りに変更して JANコード変換

#### ITF/JANコードを利用していない場合

- ・ 当面は未対応

### (3) 商品マスターに追加が必要な項目(理想型/JANアイテム一致型)

項目名	桁数	項目説明	コード例	入数	価格	JAN/ITF規格
メーカーコード	max9桁	複数メーカーコードがある時	4912345/491234567			
メーカー:プライベートコード	max10桁	メーカー:社内コード	02356	1	100	
単品JANコード	13/8桁	最小消費者購入単位	4912345 <b>023568</b>	1	100	JAN:0.8/1.0倍
内箱ITFコード	14桁	標準内箱用ITFコード	84912345 <b>023564</b>	1	600	ITF:0.25倍
外箱ITFコード	14桁(16桁)	標準外箱用ITFコード	14912345 <b>023565</b>	8	4800	ITF:0.8/1.0倍

### (4) 商品マスターに追加が必要な項目(理想型/JANアイテム不一致型)

項目名	桁数	項目説明	コード例	入数	価格	JAN/ITF規格
メーカーコード	max9桁	複数メーカーコードがある時	4912345/491234567			
メーカー:プライベートコード	max10桁	メーカー:社内コード	02356	1	100	
単品JANコード	13/8桁	最小消費者購入単位	4912345 <b>023568</b>	1	100	JAN:0.8/1.0倍
内箱ITFコード	14桁	標準内箱用ITFコード	04912345 <b>123565</b>	1	600	ITF:0.25倍
内箱JANコード	13/8桁	内箱販売用JANコード	4912345 <b>123565</b>	1	540	JAN:0.8/1.0倍
外箱ITFコード	14桁(16桁)	標準外箱用ITFコード	04912345 <b>223562</b>	8	4800	ITF:0.8/1.0倍
外箱JANコード	13/8桁	外箱販売用JANコード	4912345 <b>223562</b>	8	4800	JAN:1.0倍

GTIN(JAN/ITF)から社内管理商品コードに如何に紐付けを行うかが鍵となる。

メーカー 卸売業間、メーカー 小売業間の出荷検品に利用する場合の運用ルールを決める。

(5) 商品コードの付番方法(JANアイテム一致型)

メーカーPVコード	00012	
単品JANコード	49+12345+01234+C	
ボール用ITFコード	8+49+12345+01234+C	(既販品の場合でも"8"は固定で利用する)
ケース用ITFコード	1+49+12345+01234+C	(既販品の場合は前製品のPI+1(1~7))
	⋮	
	7+49+12345+01234+C	

消費者に、ケース販売/ボール販売する場合は、同一包装形態でのGTINを一致させる為に単品JANアイテム不一致型の採用となります。

外箱/内箱入数が 外箱入数:8、内箱入数:6

100円ホワイトチョコ 外箱入数:8、内箱入数:6

単品JAN	4912345+01234+0	2003.10発売
ボールITF	8+4912345+01234+6	"
ケースITF	1+4912345+01234+7	"
ケースITF	2+4912345+01234+7	2004.04企画変更
ケースITF	3+4912345+01234+1	2004.10企画変更
ケースITF	4+4912345+01234+1	2005.04企画変更
ケースITF	5+4912345+01234+1	2005.10企画変更
ケースITF	6+4912345+01234+1	2006.04企画変更
ケースITF	7+4912345+01234+9	2006.10企画変更

外箱/内箱入数が:外箱入数:8、内箱入数:6

60円オヤツナック (A) 外箱入数:8、内箱入数:6  
(B) 外箱入数:12、内箱入数:4

単品JAN	4912345+02356+8	2004.10発売	
ボールITF	8+4912345+02356+4	"	(A)
ボールITF	7+4912345+02356+7	"	(B)
ケースITF	1+4912345+02356+5	"	(A)
ケースITF	2+4912345+02356+2	"	(B)
ケースITF	3+4912345+02356+9	2005.04企画変更	(A)
ケースITF	4+4912345+02356+6	"	(B)
ケースITF	5+4912345+02356+3	2005.10企画変更	(A)
ケースITF	6+4912345+02356+0	"	(B)

運用留意事項

軽微な企画変更では、ITFコードを変更しないのが原則です。  
但し、ブランドオーナーの都合により変えることも可能です。  
(4年以内での再利用は原則禁止されています)

ボールITFは外箱が企画変更等では変えないのが原則です。  
(パッケージ・インシケタは、"8"を推奨しますが、その他を使う場合は  
取引先に都度連絡を行って下さい)



付番ルール

同一GTINは4年間再利用しないで下さい

	商品についての変更の種類	消費者購入単位 GTIN(JAN)	集合包装用 GTIN(ITF)
通 常 品	パッケージに表示されている内容の変更 (内容量 380g 350g ) (数量 120錠 140錠)	変更する 	変更する
	商品の成分・機能変更(消費者にアピールする場合) (小麦粉 小麦胚芽入 ) (ガム甘味料 砂糖 シュガーレス)	変更する 	変更する
	パッケージの外寸法変更(20%以上) (外装袋 150mm 200mm ) (石鹸箱 120mm 90mm )	変更する 	変更する
	商品上表示されている商品名称・ブランド名の変更 (商品名 三平ちゃん 三平くん ) (ブランド名 市民生協 COOP )	変更する 	変更する

	商品についての変更の種類	消費者購入単位 GTIN(JAN)	集合包装用 GTIN(ITF)
販 促 品	ボーナスパック(増量し、通常品と同じ価格で販売) (コーラ通常500ccを25%増量625ccへ変更)	変更する 	変更する
	コンビネーションパック(通常、別売品をまとめて販売) (シャンプーとリンスをセットで販売) (ソーセージ2本をセットして販売(バンドル)) <small>個々のGTINは</small> 	変更する 	変更する
季 節 商 品	季節の要因により変更された商品 通常品と異なる包装の場合(重量・数量・価格は同じ) (チョコ 通常は化粧箱 Xmasデザイン袋で販売)	変更する 	変更する
	同じブランドでも価格が変わる商品 ある時期の特性を持ち通常品と価格が異なる商品 (収穫年により価格が異なるヴィンテージワイン)	変更する 	変更する
通常品	消費者への通知・表示に反映する必要がない変更 商品の特徴・機能を変えない変更 (製造過程の軽微な変更、製造場所の変更、品質の改良・デザイン変更・消費者の通知を行う場合もある)	変更なし	変更なし

	商品についての変更の種類	消費者購入単位 GTIN(JAN)	集合包装用 GTIN(ITF)
販	1つにまとめられない2つ以上の同一の商品 2つの商品購入時、1つが無料で提供される (同じシャンプーを2本買うと1本分は無料)	変更なし	通常出荷 変更なし 同梱出荷 変更する
	通常商品に試供品として添付されている 棚管理に影響なし、期間限定で商品の再注文はない (シャンプーに非売品のリンスが添付)	変更なし	通常品と同梱される 場合は変更なし
促	1つにまとめられていない、バンドルされてない2つの 別々の商品。別の通常商品が無料提供。 (ウイスキー購入時に天然水ボトルが提供)	変更なし	別梱包 変更なし 同梱包 変更する
	通常品のパッケージの中に含まれている無料商品 通常品自体の重量・数量の変更はない (ウイスキー化粧箱の中にグラス(非売品)無料提供)	変更なし	変更なし
品	期間限定のイベント用販売促進 商品の重量・数量・寸法に変更はない (優勝記念の期間限定のデザイン変更缶ビール)	変更なし	変更する 期間限定の為通常品 と区別が必要
	小売業向け値引き商品 1ケース40個入の商品が45個入で納品 5個分は無料	変更なし	入数変更 変更する ケース単位で増えた 場合 変更なし

	商品についての変更の種類	消費者購入単位 GTIN(JAN)	集合包装用 GTIN(ITF)
集 合 包 装	同一商品が集合包装されその入数が異なる場合 各入数毎の集合包装GTINが必要	変更なし	入数6個、入数12個 入数24個で個々の GTIN(ITF)が必要
	集合包装の中身の構成が変更される場合 (総数・総量は変わらず) (継続的な変更) (A20/B30/C50 A30/B40/C30へ変更)	変更なし	中身を区別する為 変更する
	消費者への通知・表示に反映する必要がない変更 商品の特徴・機能を変えない変更 (企画変更・新製品扱い etc)	変更なし	ブランドオーナーの都合 より変更する場合がある

# 【よくある質問(Q)と回答(A)の例】



Q1	既に設定されているJANコード、集合包装用商品コードはGTINとして使えますか？
A1	既に設定されているJANコードは、先頭に0を付けて14桁(13桁JANは1個、8桁JANは6個)にしてGTINとして利用します。集合包装用商品コード14桁はそのままGTINとして使えますが、16桁は桁が足りないのでGTINとして使えません。
Q2	今後、16桁の集合包装用商品コードは使えなくなるのですか？
A2	現在の集合包装用商品コード16桁の切り替えの最終期限は2010年3月です。2010年3月迄に集合包装用商品コード14桁への切り替えが必要です。これから出来る新商品は14桁の集合包装用商品コードを設定します。既存商品については、段ボールなど包材の更新、追加印刷の機会に14桁へ切り替えることをお勧めします。
Q3	集合包装用商品コードの「不一致型」とは何ですか？
A3	現在、わが国の集合包装用商品コードは集合包装に梱包されている単品のJANコードと同じアイテムコードの「一致型」で運用されています。「不一致型」とは、集合包装用商品コードのアイテムコード部分が単品のアイテムコードとは一致しない集合包装用商品コードです。既に欧州などで使用されていますが、わが国でも2007年3月より採用開始となります。PI(パッケージインジケータ)は必ず「0」となります。
Q4	現在、ITFシンボルによる入荷検品を行っていますが、集合包装用商品コードの「不一致型」の登場で何か問題になることはありますか？
A4	商品マスターに単品JANと別に集合包装用商品コードも登録されていて、検品、照合の際に集合包装用商品コードの全桁を認識し、発注時の単品JANコードとの紐付けが可能となっている企業はシステム変更は不要です。しかし、集合包装用商品コードの先頭のPI(パッケージインジケータ)を判別しないで、JANコード部分で発注時の単品JANとの照合検品を行っている企業はシステム変更が必要です。
Q5	わが社は商品メーカーですが、集合包装用商品コードは「不一致型」へ変更する必要があるのですか？
A5	原則的に「一致型」で運用できるのであれば、「不一致型」に特に変更する必要はありません。14桁の「一致型」で今後もそのまま使えます。但し、PI(パッケージインジケータ)が1桁で運用できない商品の場合は、「不一致型」で運用することが現実的な対応と考えられます。また、消費者にボール・ケース販売する場合は必然的に「不一致型」の採用となります。
Q6	現在、ボール(内箱)、ケース(外箱)の外装(集合包装)に、単品のJANシンボルを表示していますが、問題がありますか？
A6	取引単位毎に個別の商品識別コードGTINを付番する必要があります。各取引単位毎に異なるGTINの設定が必要です。棚卸しや返品の場合に単品とボールが同一のJANでは識別できません。2007年3月からは、国際標準を徹底し外装への商品コードの表示は、単品のJANコードとは異なる「JAN」または「集合包装用商品コード」へ切替える必要があります。(当面は、流通業側での対応の懸念がある為、側面にボール/ケース用ITF、天面(または底面)に単品用JANの表記を期間限定で認める)
Q7	商品カタログなどへのコードの掲載はどのようにすればよいのですか？
A7	商品カタログには、発注に使われる「GTIN」、「単品JANコード」、「集合包装用商品コード」を最低限記載して下さい。「不一致型」を採用した場合はカタログにも「不一致型」と明記して下さい。
Q7	いつから変更、対応が必要ですか、また、変更、対応しないとどうなりますか？
A7	2007年3月からの適用開始、2010年3月迄の移行終了が原則です。GTINの採用、対応については、何ら法律的な拘束、罰則などはありませんが、業界内外との関係等でGTINの採用についての適切、円滑な対応が望まれます。
Q8	流通各層におけるGTIN受け入れ状況、対応状況は？
A8	流通システム開発センターを中心に、流通各層の各業種、各業界団体、関連組織等へのGTIN説明会の開催、個別企業へのダイレクトメールなどによる案内を行い、混乱が生じないようGTINの周知に努めています。今後も、対応スケジュールに基づき、アンケート調査の結果の公開など積極的な広報・PRを行っていく予定です。また、菓子業界でも全商連(JCWA)・全菓協(アンカ)でもホームページも含めて普及活動を行っております。

# 【 e-お菓子ねっと EDI フォーマット GTIN 対応 】

## 商品コード識別区分

区分	商品コード分類
0	統一商品コード
1	ITFコード(標準14桁)
2	ITFコード(拡張16桁)
3	JANコード(標準)
4	JANコード(短縮)
6	GTINコード(14桁)

メーカーコード: 7桁														
O	O	O	M	M	M	M	M	M	M	I	I	I	I	O
P	M	M	M	M	M	M	M	M	M	I	I	I	I	C
O	P	P	M	M	M	M	M	M	M	I	I	I	I	C
M	M	M	M	M	M	M	M	M	M	I	I	I	I	C
M	M	M	M	M	M	M	M	M	M	I	C			
G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	C

メーカーコード: 9桁															
O	O	O	M	M	M	M	M	M	M	M	I	I	I	I	O
P	M	M	M	M	M	M	M	M	M	M	I	I	I	C	
O	P	P	M	M	M	M	M	M	M	M	M	I	I	C	
M	M	M	M	M	M	M	M	M	M	M	I	I	I	C	
M	M	M	M	M	M	M	M	M	M	M	I	C			
G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	C	

共通コード欄表示	
なし	
上段: 8桁、下段: 6桁	
上段: 8桁、下段: 8桁	
上段: 8桁、下段: 5桁	
上段: 8桁	
上段: 8桁、下段: 6桁	
G G G G G G G G	
G G G G G C	

## GTINコード体系

G T I N	ITFコード(一致型)
	ITFコード(不一致型)
	JANコード(標準)
	JANコード(短縮)

P	M	M	M	M	M	M	M	M	M	I	I	I	I	C
O	M	M	M	M	M	M	M	M	M	I	I	I	I	C
O	M	M	M	M	M	M	M	M	M	I	I	I	I	C
O	O	O	O	O	O	M	M	M	M	M	M	I	C	

P	M	M	M	M	M	M	M	M	M	M	I	I	I	C
O	M	M	M	M	M	M	M	M	M	M	I	I	I	C
O	M	M	M	M	M	M	M	M	M	M	I	I	I	C
O	O	O	O	O	O	M	M	M	M	M	M	I	C	

優先利用(再利用は協議)
協議後利用
協議後利用
協議後利用

## 変更データ種一覧

種別	データ種類
02	発注データ
11	入庫予定データ
12	受領データ
19	返品通知データ
22	直送データ
42	店出しデータ

レコード名	項目名
明細	商品コード識別区分 品番
明細	商品コード識別区分 品番
明細	商品コード識別区分 品番
明細	商品コード識別区分 品番
明細	商品コード識別区分 品番

項番				
7	25			
8	26			
6	25			
7	26			
7	27			
8	28			
7	26			
8	27			
7	26			
8	27			
5	13	21	29	37
6	14	22	30	38

【GTIN利用の原則】

- 取引先への対応確認が必要です
- 原則は発注単位のGTINを使用  
(ケース/ボール/単品)
- 入数(内容)を明記する  
(ケース内ボール数、ボール内バラ数)